

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名		なると観光ブランド化推進事業(鳴門海峡の世界遺産化に向けて)		担当部署	経済建設部 観光振興課	
総合計画体系				根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり				
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると		事業 期間	開始	平成 ▼ 21 年度
(小項目)		観光				終期
施策	1	観光・交流のまちづくり				
基本事業	1	観光ブランドづくり				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民及び観光客						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	広域エリアからの更なる誘客を図るため、鳴門海峡の渦潮の世界遺産への登録を目指す取り組みを進め、観光地のブランド化を推進する。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	「鳴門海峡の渦潮世界遺産化」推進交流会を本市と南あわじ市で開催していくことにより、世界遺産化に向けた取り組みをすすめる。 推進交流会で決定した統一ロゴマーク等を活用し、観光協会をはじめ各種団体がさまざまな宣伝物を製作するほか、世界遺産化キャンペーンを実施することにより、PRを行う。また、「渦開き」「島びらき」などのイベントを両市が連携して行うことにより、相互の誘客促進を図る。 平成27年度に大鳴門橋開通30周年を迎えることから、推進交流会でPRイベントの検討を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		観光入込客数	2,350,000	2,400,000	2,450,000	2,500,000	2,500,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	南あわじ市と本市の官民が連携して、メディア訪問を実施するなどマスメディアを活用し情報発信を行った。 7月には、うずしお観光協会を中心に世界遺産化を目指す民間の推進団体「鳴門海峡の渦潮を世界遺産にする会」が発足した。AR(拡張現実)を活用した世界遺産化PRパンフレットを作成し、本推進団体と連携して大阪でPRキャンペーンを実施した。12月には、兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会が発足したことから、協議会構成団体や「鳴門海峡の渦潮を世界遺産にする会」等と連携し取り組みを推進する。平成27年3月には、南あわじ市の「島びらき」・本市の「渦開き」を共同開催するとともに、大鳴門橋開通30周年記念イベント「渦フェスタ」において世界遺産化PRブースを設置した。 鳴門中央ロータリークラブと連携し、世界遺産化PR動画「恋するフォーチュンクッキー鳴門海峡編」を制作するとともに、本庁舎に横断幕を設置した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
		指標名	25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数	4	5	3	3	3	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標		観光入込客数	1,843,242	1,945,431	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		81.1	—	—	—	%
今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	0	0	0	79	79
		全体予算額	0	0	0	0	480	480
		決算額	0	0	0	0	405	405
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
	0.1	0.1		890		1,295		

【鳴門市行政評価】

【事務事業名: なると観光ブランド化推進事業(鳴門海峡の世界遺産化に向けて)】

(千円)

年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度	
事業費推移	事業費	505	405	2,274	2,274	2,274
	うち一般財源	505	405	2,274	2,274	2,274
	人件費	652	890	890	890	890
	総事業費	1,157	1,295	3,164	3,164	3,164

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		鳴門海峡の世界遺産化への取り組みは、観光資源のブランド化や、知名度の向上につながった。
	効率性	B:概ね効率的だった		兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会の発足により、連携強化が図られ、効率的な取り組みにつながった。
②成果に対する評価	指標名	観光入込客数		自然・文化・食など、優れた観光資源を有していながらここ数年観光入込客数が伸び悩んでいる。
	目標	2,400,000	人	
	実績	1,945,431	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		目標を達成できていないことから、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	世界遺産の登録数が急増している状況を踏まえ、ユネスコにおいては遺産登録を各国1年に自然・文化1件ずつに制限しており、これまで以上に登録へのハードルが高くなっている。ユネスコや国等の動向を注視しながら、より長期的な視野に立って取り組みを進める必要がある。 また、世界遺産登録の足掛かりとして「ジオパーク」や「日本遺産」などへの登録も視野に入れて調査・研究をする必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会が発足したことから、今後は本推進協議会を母体として様々な取り組みを推進する。			
	H28年度	H27年度の反省点等を踏まえ、事業内容の見直し・検討を行う。			